

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正管理		目標年度	指標の設定理由				
	数値	-			H26	施設の適正管理を行う			
活動指標	指標	a	管理業務	b	利用状況	c		d	
	数値	目標	-	目標	-	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
適正管理		-	-	-

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 管理業務	日	260 日	260 日	260 日
b 利用状況	日	126 日	139 日	93 日
c				
d				

4. 課題と対応

課題
集会所の使用は年々減少し、地区館としての利用(使用料免除)が多くなってきている
対応（改善点等）
公共施設の見直し3次公表に基づく対応を行う

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

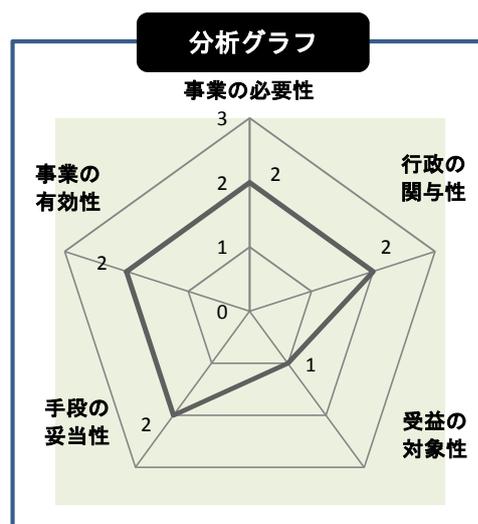
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		2,879	2,844	3,870	3,210
うち経常経費		2,879	2,844	2,873	3,210
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	38	92	84	21
	一般財源	2,841	2,752	3,786	3,189
うち経常		2,841	2,752	2,789	3,189
事業費に係る人件費		2,335	2,133	2,277	2,236

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
平成23年度より、管理人の勤務日数を週3日に削減したため、減額する

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 長谷川地区には必要な施設である
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 利用状況等を考え適正な管理を行う
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 長谷川地区には必要な施設である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 今後の管理運営方法について地区との協議が必要
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 利用状況に応じた適正管理が必要



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	公共施設の見直し方針に則ること